

## 教師用指導案

### 1. テーマ・授業名

テーマ 2 パラスポーツ

授業 2 「シッティングバレーボールをやってみよう！」

### 2. 授業の目標

- ・シッティングバレーボールのエッセンスを体験することで、パラスポーツを身近に感じ、興味を持つ。
- ・シッティングバレーボールという、座ったままで楽しめる工夫をされた競技の体験を通して、下肢に障害があるから「できない」のではなく、あっても「できる」競技であることを理解し、目的を達成できるように工夫することの大切さを考えるきっかけとなる。
- ・チームプレーを行う中で、的確な指示を出したり、相手の立場に立って物事を考えたりすることの必要性に気づく。その結果、障害者理解だけでなく、コミュニケーションがうまくとれるようになり、友達を信頼したり、尊重しあったりしてクラスの雰囲気を高めることができるようになる。

### 3. 指導の留意点、工夫点

- ・本時の前に、[2-1 パラリンピックスポーツについて学ぼう!]を実施し、時間内にシッティングバレーボールの試合やルールの映像を見せておくといよい。[2-1]を実施していない場合は、給食などの時間を使って、本時が始まる前に映像を見せておくといよい。
- ・ソフトバレーボールを体験したことがないと、ゲームを成り立たせるのが難しいので、本時では練習までにとどめる。
- ・複数時の授業数が確保できる場合は、サーブなどの練習をして、ゲームに挑戦するといよい。
- ・「お尻を床につけたまま移動するには、どうするといよいか」「長くラリーを続けるためにはどんなコツがあるか」「言葉の掛け合いなどはどうすべきか」など、できるようになるための工夫ができていたら、積極的に認めていく。

### 4. 準備物

- ・授業用シート(2-2)
- ・児童用ワークシート(2-2)
- ・映像資料 DVD：シッティングバレーボール
- ・ソフトバレーボール(チームの数分)  
※なければビーチボールでも可  
※バレーボールは硬いので、やわらかいボールが望ましい。硬いボールしか用意できない場合は、1回バウンドしてよい、キャッチしてよいなどのルールを適用するといよい。
- ・コーン(チームの数分)



〈展開案〉 ※【 】内は経過時間。

時間	教師の活動	指導上の留意点・配慮事項	準備物/教師参照物
導入 (10分) <b>【10分】</b> 目安 めあて：5分 ルール：5分	(1) 本日のめあてと、授業の内容を説明する。 めあて ①シッティングバレーボールを体験して ②楽しさを知る。 本日の授業 シッティングバレーボールについて知る→練習①→練習②→振り返り (2) シッティングバレーボールの基本的なルールを説明する。	(1) ・まわりとのコミュニケーションについて、授業用シートには「めあて」として記していないが、様々な説明の中で、コミュニケーションの大切さを感じさせ、児童の気づきを引き出す。 (2) ・バレーボールとの違いを示すことで、シッティングバレーボールを理解しやすくする。 ・試合はせず、練習のみすることを伝える。	・授業用シート(2-2) <b>【教師参照】</b> ・教師用ハンドブック P23 ・映像資料 DVD：シッティングバレーボール
準備体操 (3分) <b>【13分】</b>	シッティングバレーボールに合った準備体操を行う。 ・座った姿勢での準備運動	・肩や首、指を念入りにストレッチしておく。 ・座った状態で、受け身のような動きをして、後ろに倒れてもあごをひいて、頭を打たないようにする練習をしておく。	<b>【教師参照】</b> ・映像資料 DVD：シッティングバレーボール
展開① お尻を床につけたまま動かす練習 (9分) <b>【22分】</b> 目安 鬼ごっこ：4分 ルール：5分	お尻を床につけたまま動く練習 (1) 鬼ごっこ (2) ボールをバトン代わりにして、あまり手を使わずお尻を床につけたまま動くリレー	(1) ・鬼ごっこに限らず、お尻を床につけたまま移動することに楽しさを感じさせるような練習にする。 (2) ・チームごとに、少し練習し、どうすれば早く進めるか、考えながらできるようにする。 ・2メートルくらい先にコーンを置いて、そこを回ってくるリレーを行うが、発達段階に合わせて、距離を延ばしたり、途中で八の字を描いたりするなどの工夫をする。	・コーン ・ソフトバレーボール <b>【教師参照】</b> ・映像資料 DVD：シッティングバレーボール
展開② 円陣パスラリー (13分) <b>【35分】</b> 目安 チーム内練習：5分 ラリー：4分 2チームラリー：4分	(1) チームごとの円陣パスラリー	(1) ・習熟度に応じて、1回バウンドまではよい、キャッチをしてもよいなどのルールを作ってもよい。 ・足や頭などでもパスを上げてもよいことを伝えてもよい。(体のどの部分を使ってもよい) ・本来は、同じ児童が2回連続でボールにふれてはいけないが、習熟度に応じて、そのあたりも加減してよい。 ・円陣がどんどん小さくなってきてしまう可能性があるため、状況に応じて声かけをする。 ・慣れてきたら、3分間で何回パスをつなぐことができるか、などの設定で競わせる。	・授業用シート(2-2) <b>【教師参照】</b> ・教師用ハンドブック P23



時間	教師の活動	指導上の留意点・配慮事項	準備物/教師参照物
	(2) 2チームで向かい合い、3回 ずつパスして相手チームに 回すというラリー	(2) ・(1)を数回やって、慣れてきたら、2チーム でのパスのラリーを行い、時間があればパ スが続いた数を競う。	
振り返り (5分) 【40分】	体験して思ったことを児童 用ワークシートに書かせ、 振り返らせる。 ・ワークシートへの記入	・うまく書けていない児童は、今日驚いたこと や新しく知ったことなどを聞き出して、書け るようにフォローする。 ・時間がない場合は口頭のみでの振り返りと し、ワークシートは宿題にしてもよい。	・児童用ワークシート (2-2)
まとめ・片づけ (5分) 【45分】	数人に振り返りを発表させ た後まとめる。 ・発表させる ・まとめる ・協力して片づけをさせる	・児童の驚きや気づきを発表させ、よい発言 があったらほめる。 ・発見したコツを披露させてもよい。 ・まとめとして、友達への配慮や、係としての 確に動けたことなど、よい態度があったら ほめる。 ・用具の片づけも協力してできるようにする。	・児童用ワークシート (2-2)